

印西地区環境整備事業組合

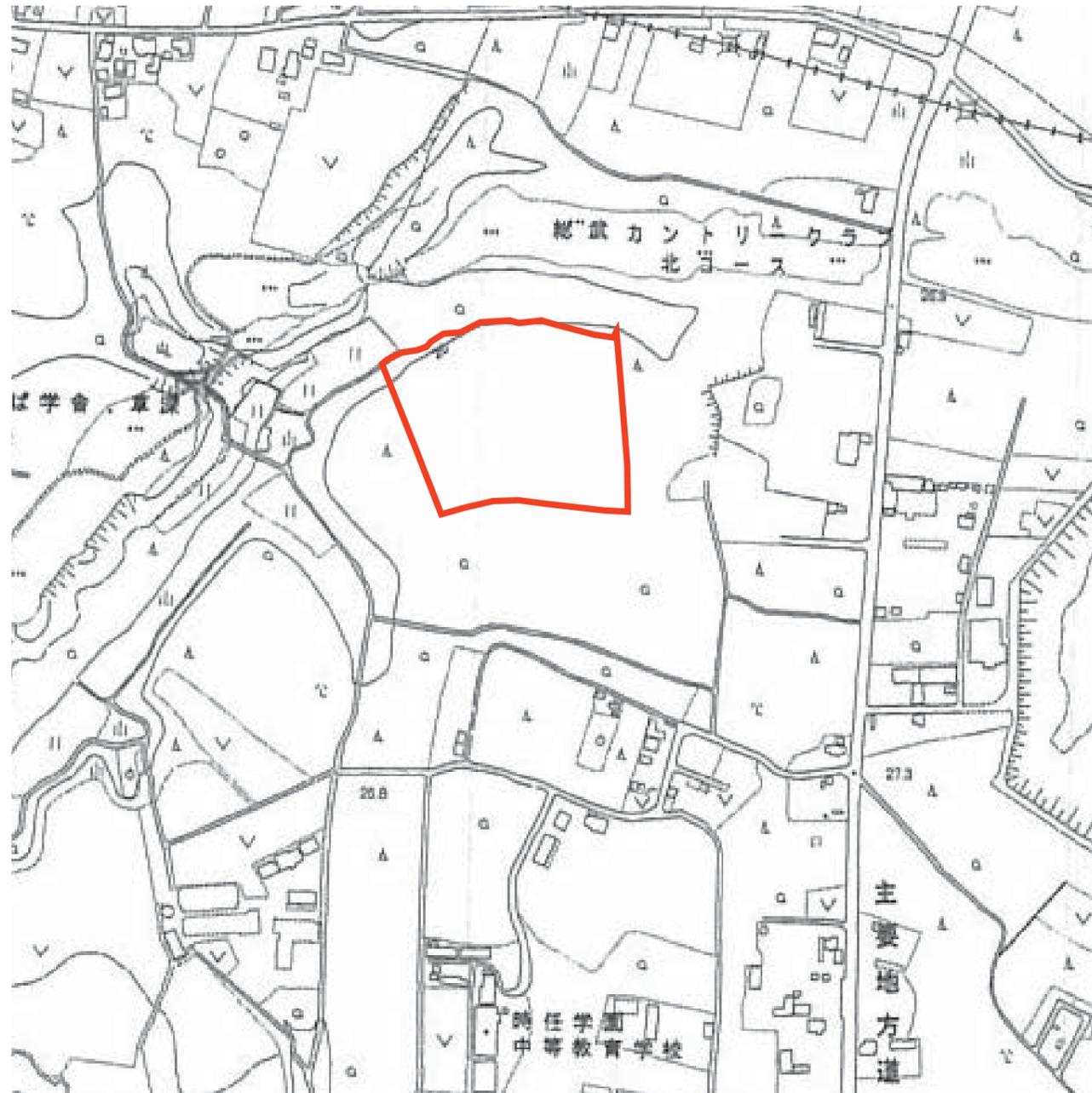
次期中間処理施設整備事業用地検討委員会

第12回会議 確認資料

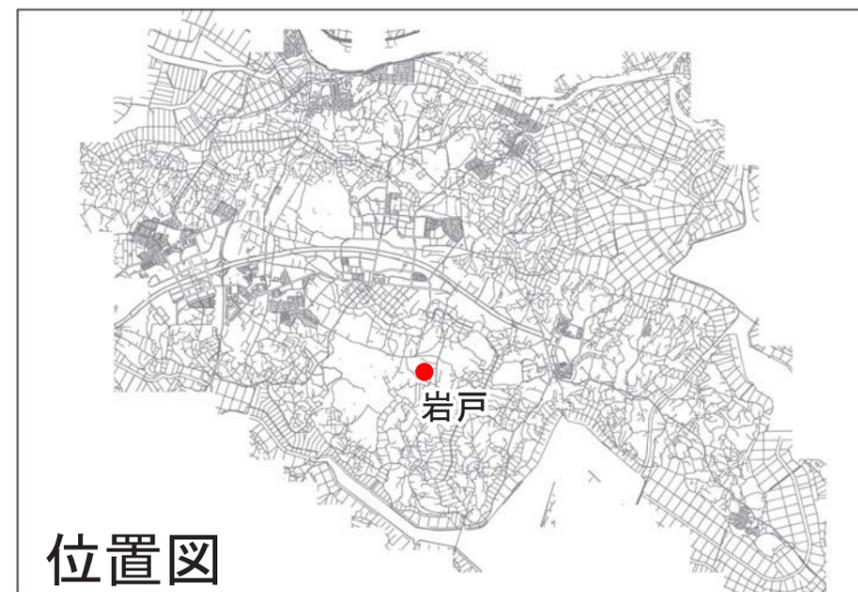
目次

次第3	候補地の1次審査(案)について	・・・	1-1～1-9
次第4	候補地の2次審査(案)について	・・・	2-1～2-12

平成26年6月22日



(平成20年5月6日撮影)



位置図

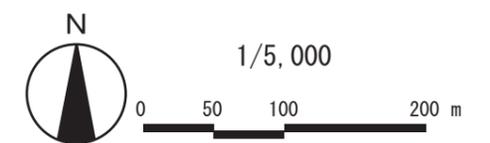
応募面積：約2.4 ha (23,782m²)

地目：山林 約2.4 ha

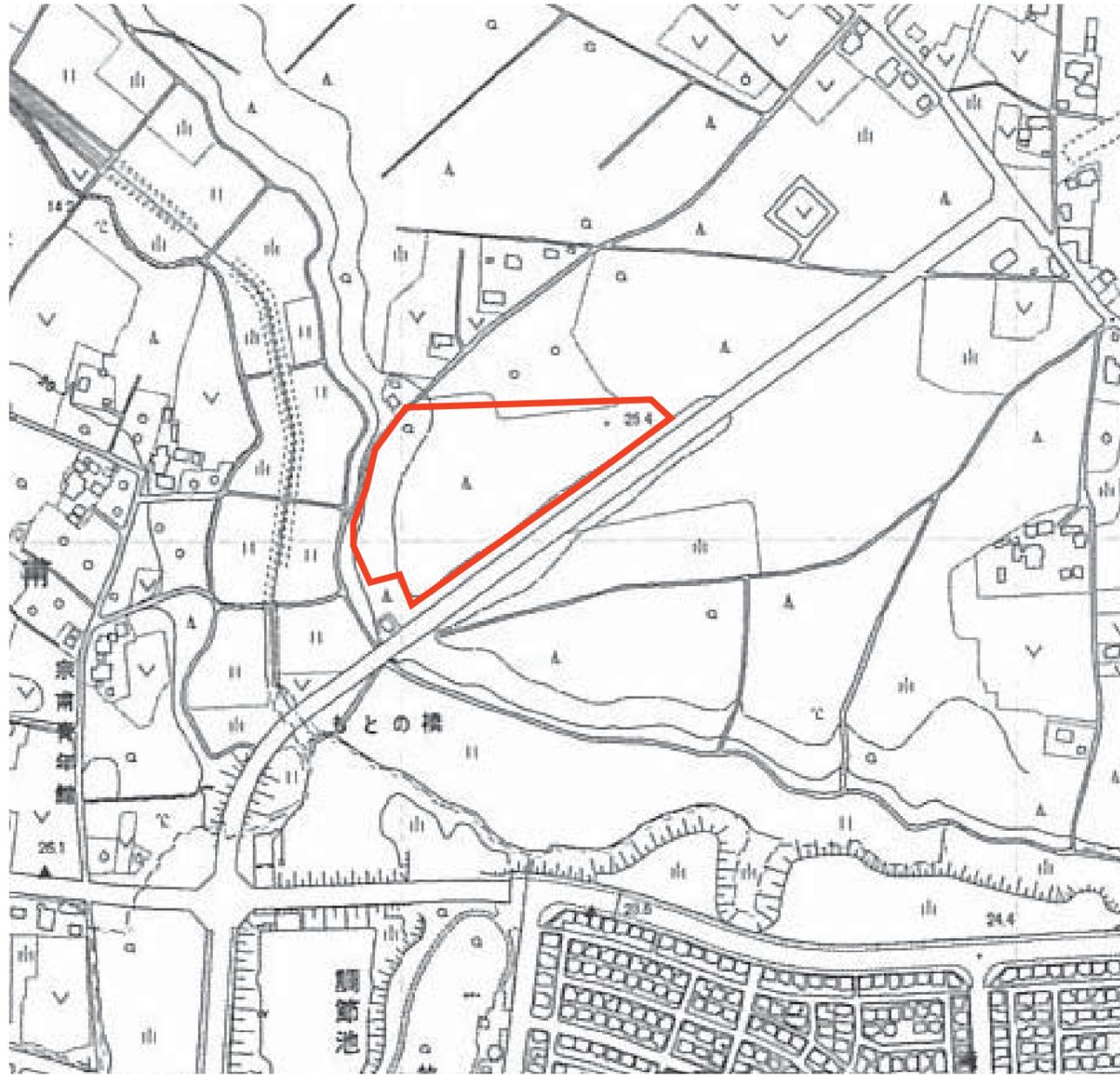
筆数：6筆

土地所有者数：5名

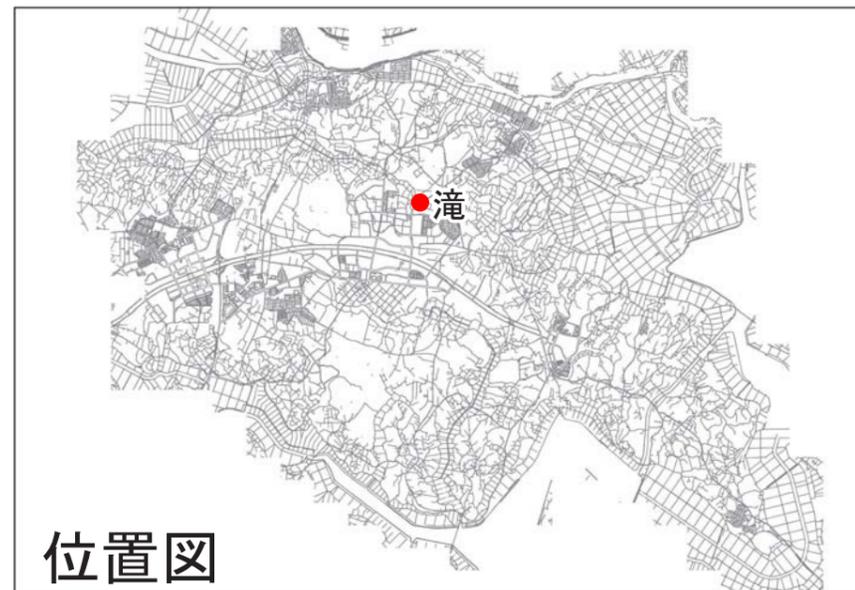
岩戸地区



確認項目No.1 面積要件



(平成20年5月6日撮影)



位置図

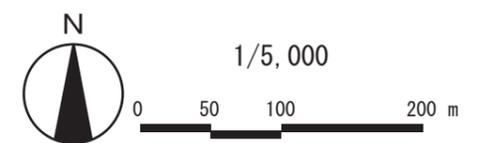
応募面積：約2.4 ha (24,451m²)

地目：山林 約2.3 ha
原野 約0.1 ha

筆数：9筆

土地所有者数：10名

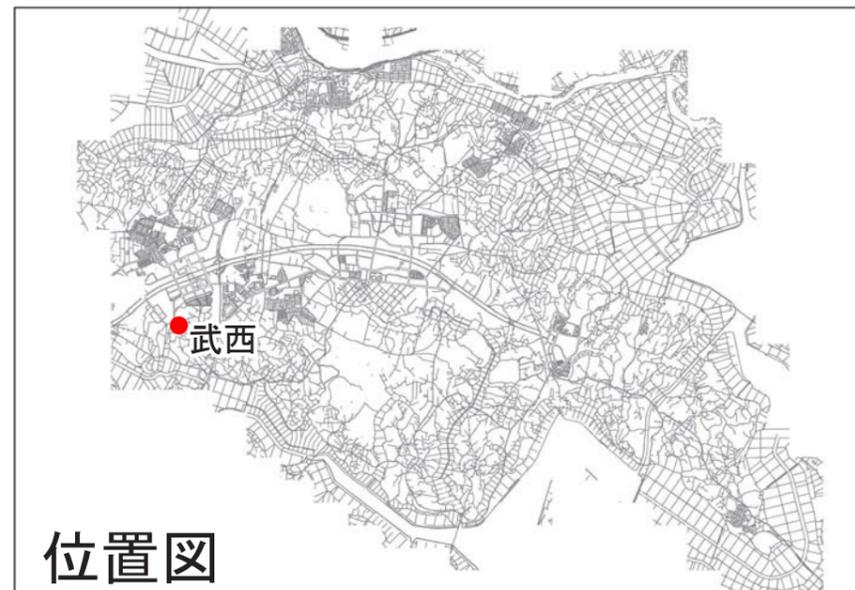
滝地区



確認項目No.1 面積要件



(平成20年5月6日撮影)



位置図

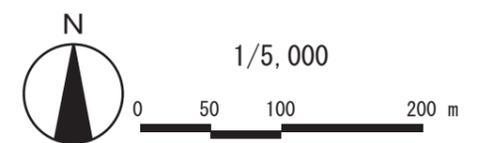
応募面積：約2.5 ha (25,406m²)

地目： 畑 約0.8 ha
山林 約1.7 ha

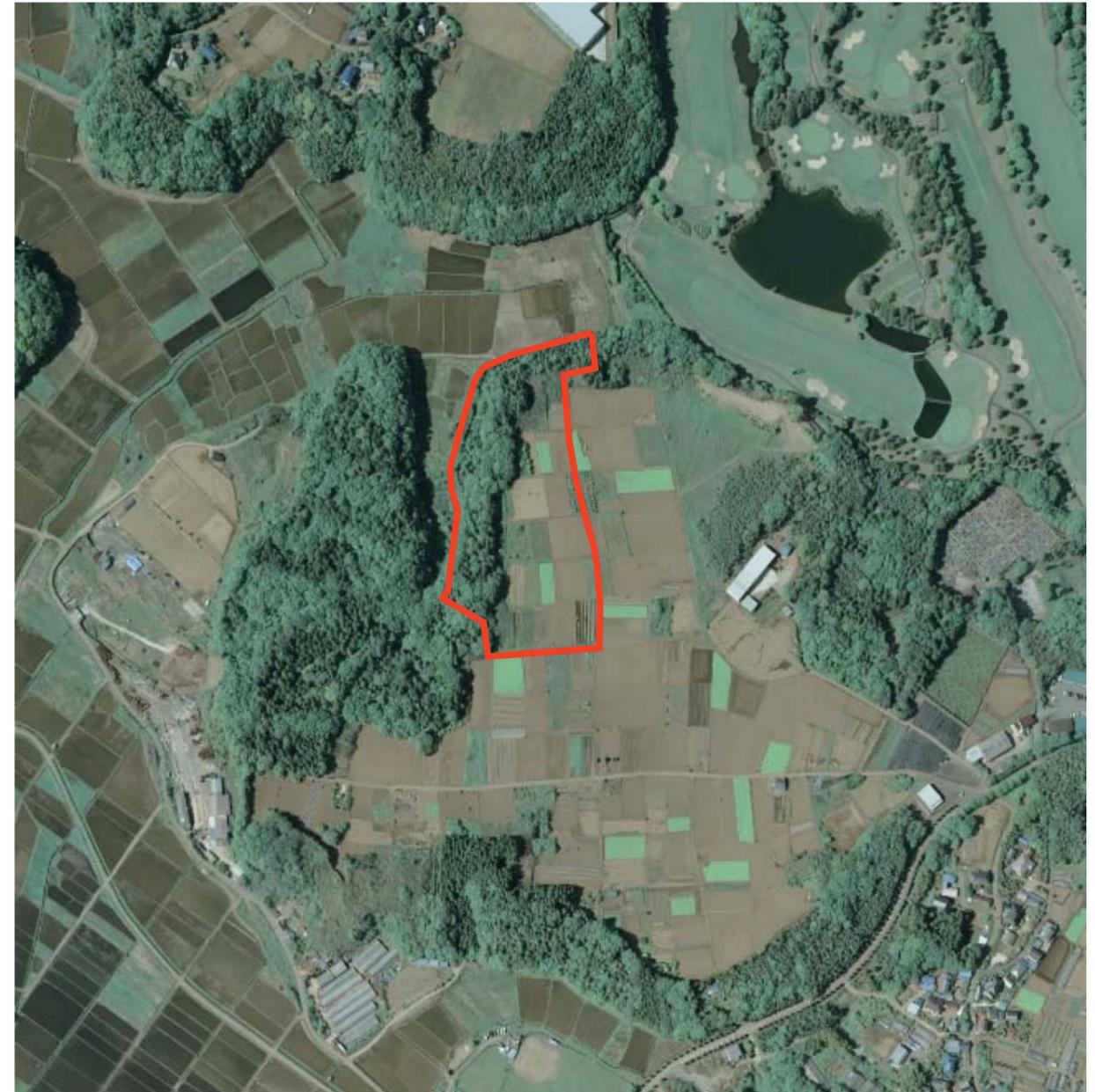
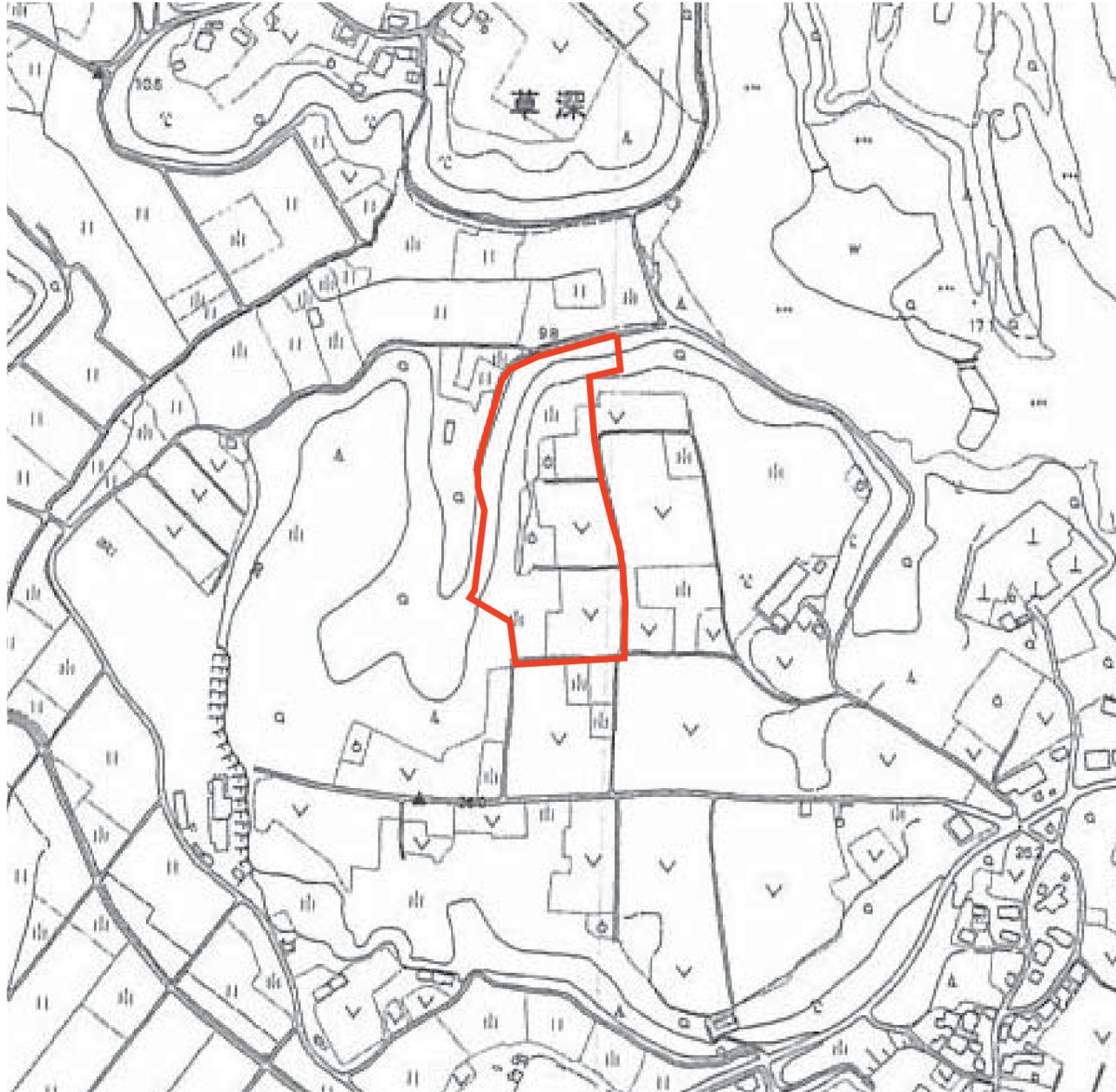
筆数：13筆

土地所有者数：9名

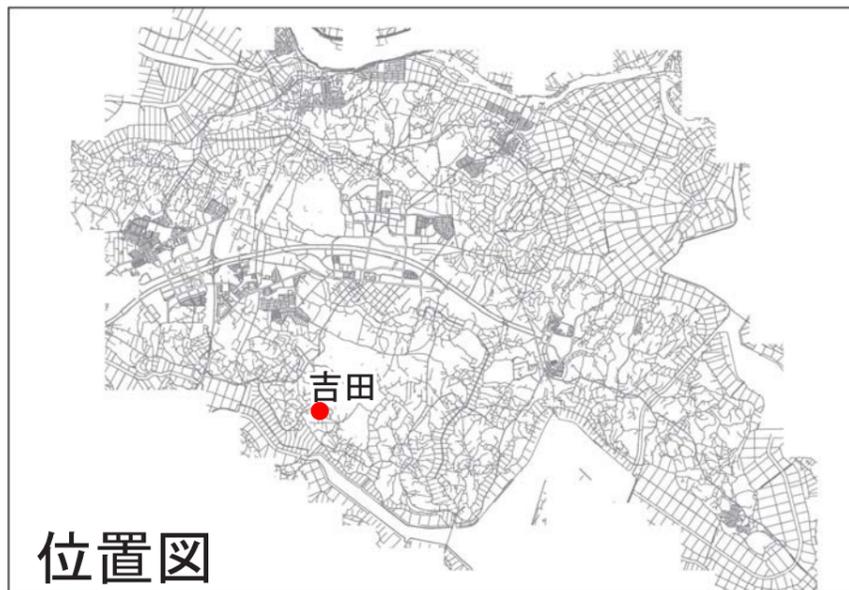
武西地区



確認項目No.1 面積要件



(平成20年5月6日撮影)



位置図

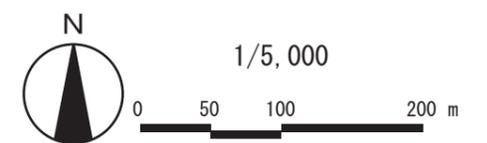
応募面積：約2.6 ha (26,125m²)

地目： 畑 約1.7 ha
山林 約0.9 ha

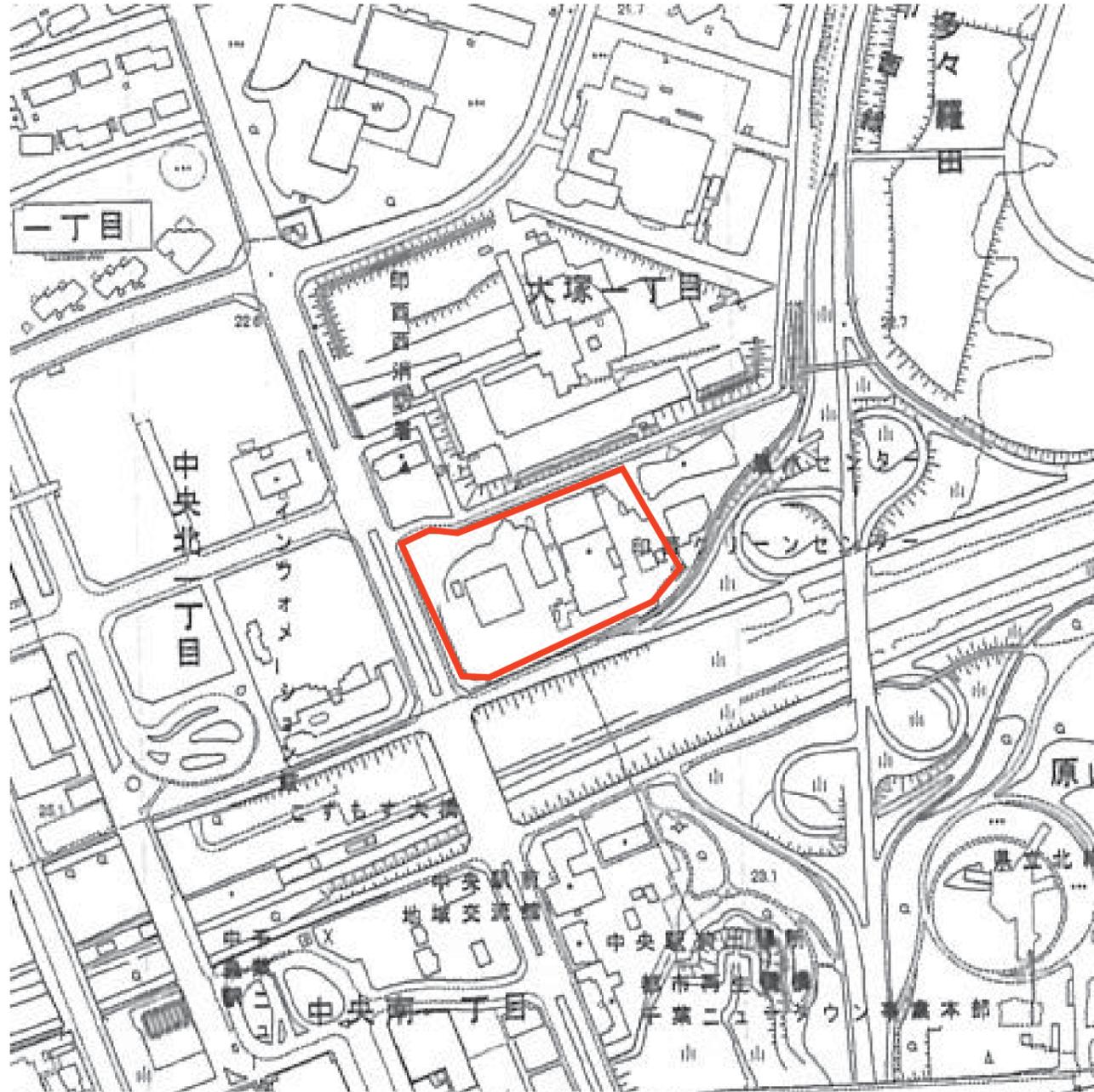
筆数：33筆

土地所有者数：28名

吉田地区



確認項目No.1 面積要件



(平成20年5月6日撮影)



面積：約2.5 ha (24,968m²)

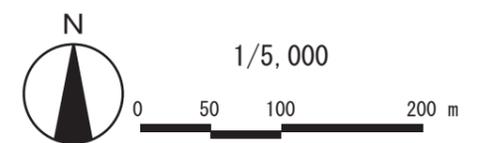
地目：宅地 約2.5 ha

筆数：3筆

土地所有者数：1法人(印西地区環境整備事業組合)

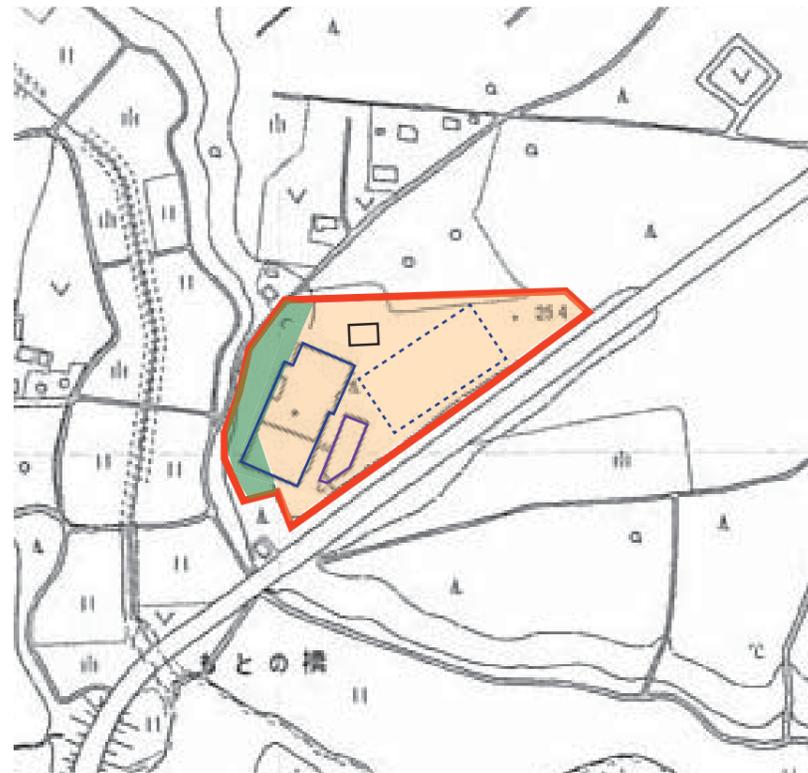
確認項目No.1 面積要件

現在地

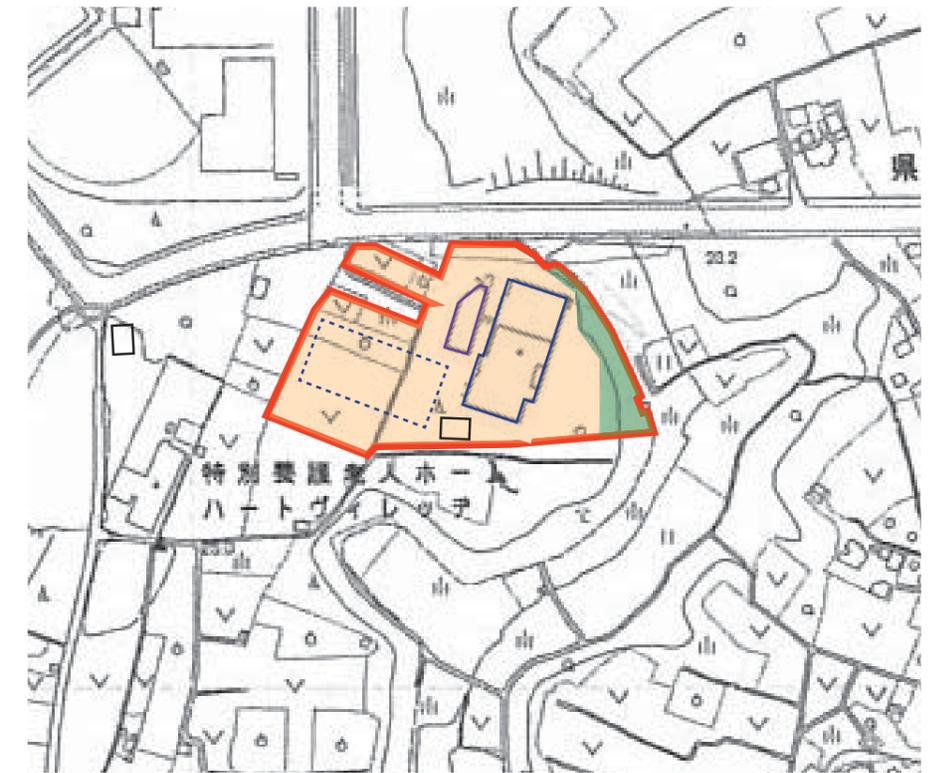




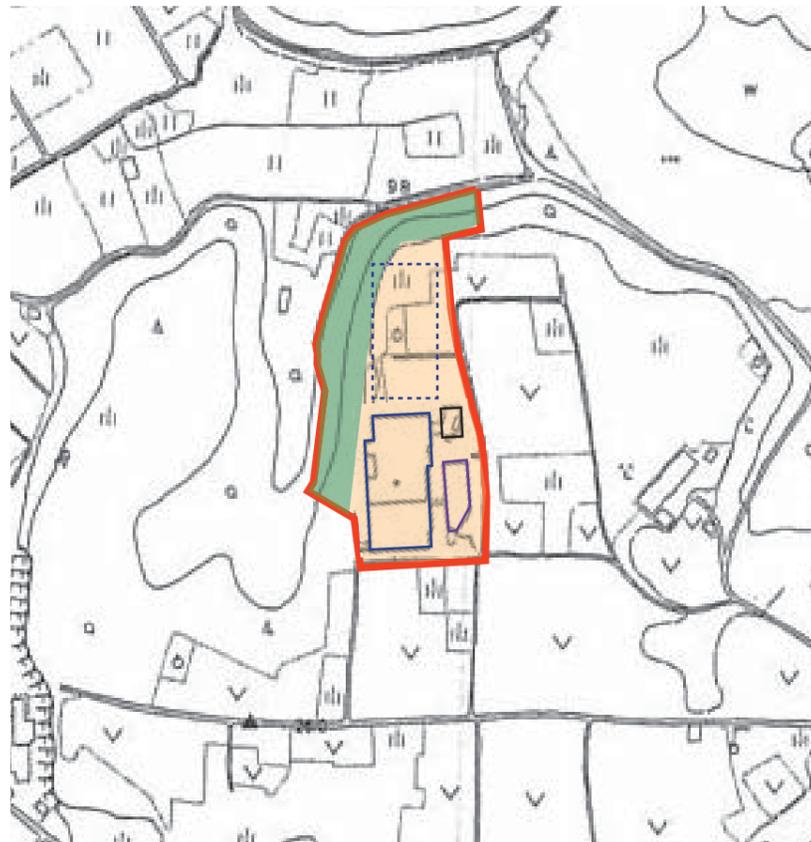
岩戸地区 (約1.8ha平地、約0.6ha斜面)



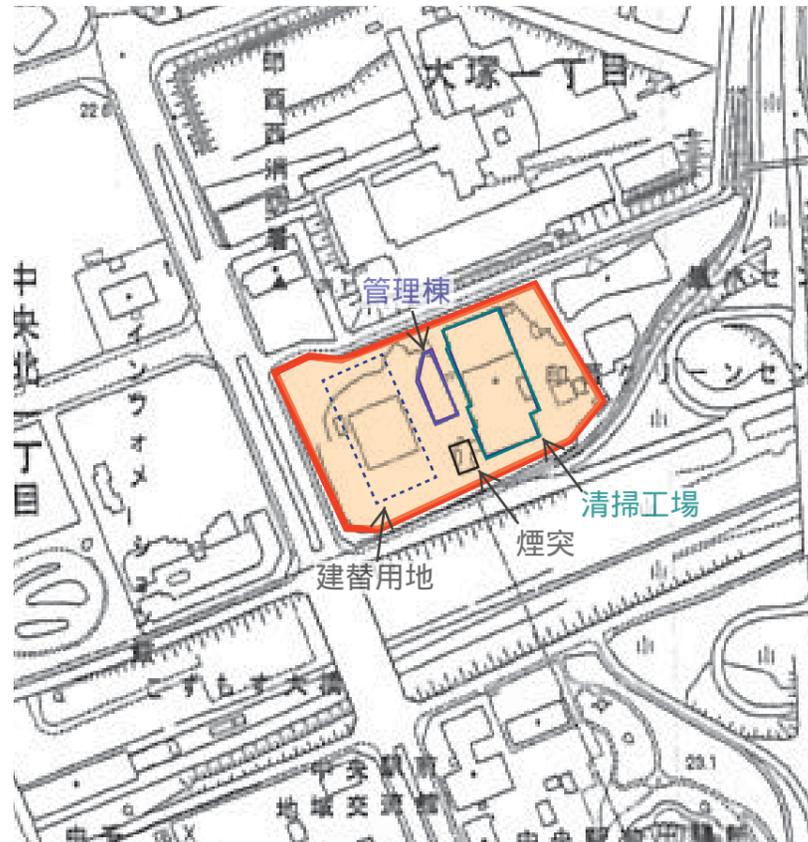
滝地区 (約2.1ha平地、約0.3ha斜面)



武西地区 (約2.0ha平地、約0.5ha斜面)

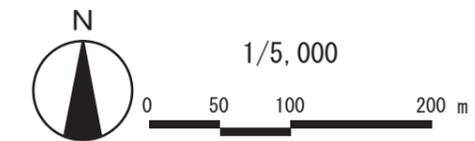


吉田地区 (約1.7ha平地、約0.9ha斜面)



現在地 (約2.5ha平地)

候補地内に現在地の清掃工場、管理棟、煙突及び建替用地を配置しました。また、候補地内の地形を平地と斜面で区分しました。



凡例 : 平地 : 斜面

確認項目No.1 面積要件 (形状)

洪水・土砂災害 ハザードマップ

「洪水ハザードマップ」は、3日間の雨量が318mm（概ね200年に1回程度の大雨で、昭和22年のカスリーン台風と同規模）となり、利根川がはん濫した場合を想定し、浸水する区域を示したものです。

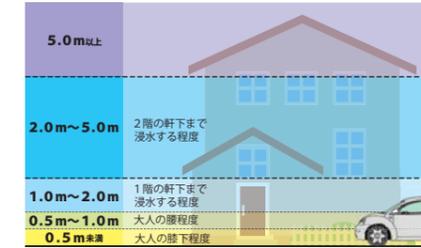
マップで示される浸水想定区域および浸水の程度は、あくまでも想定です。浸水の程度や範囲は雨の降り方や土地の形態、隣接する河川の状態等により変化するため、大雨の際、常にこのハザードマップのような浸水が起こるわけではありません。想定よりも広い範囲への浸水や深い浸水、浸水想定区域に指定されていない区域への浸水が発生する場合がありますので、ご注意ください。

「土砂災害ハザードマップ」は、千葉県により土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定された急傾斜地を示したものです。大雨時は、テレビやラジオ、市役所からの情報に注意し、早めの避難を心がけましょう。

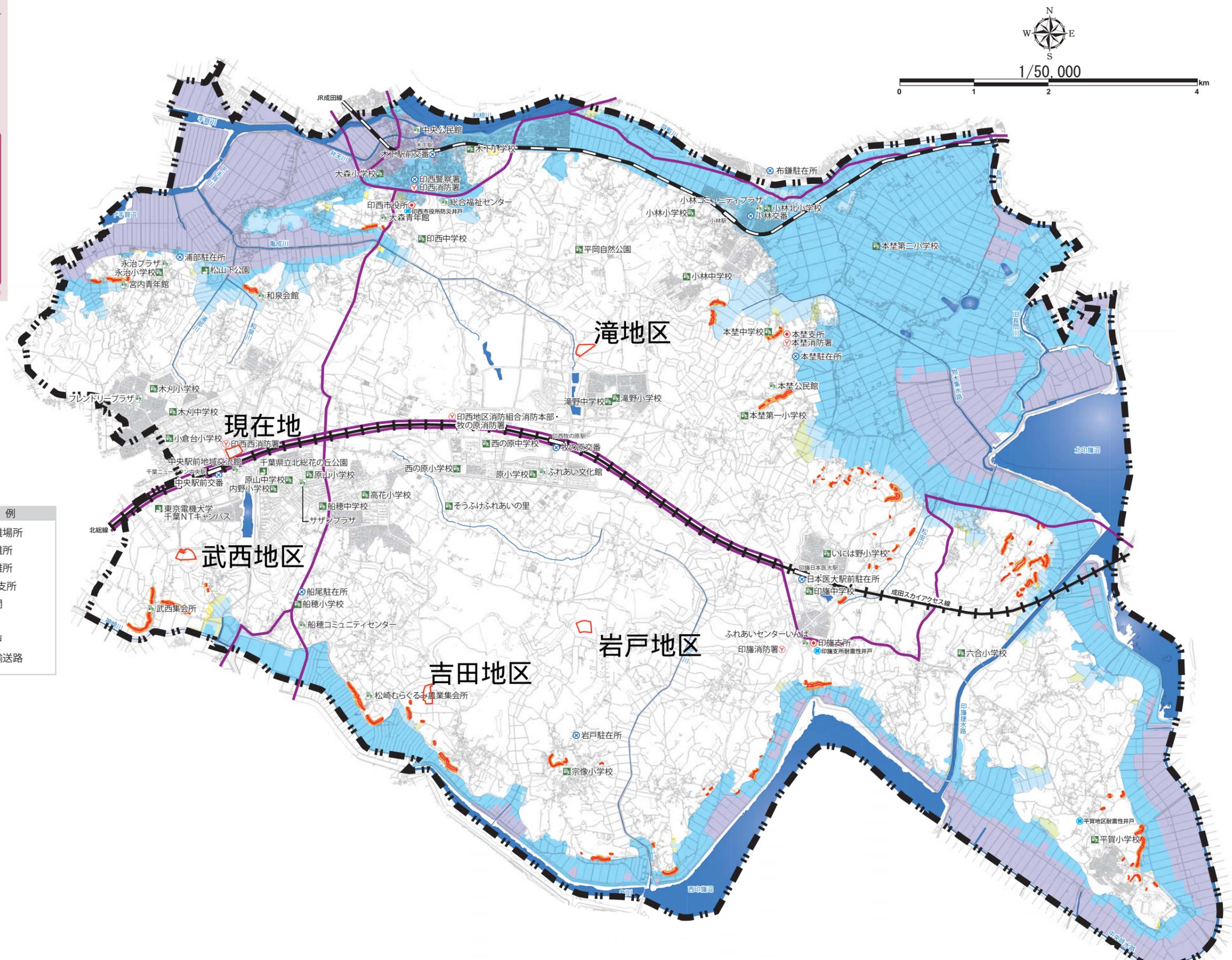
平成25年8月発行

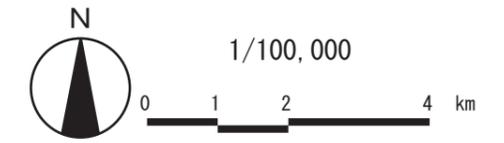
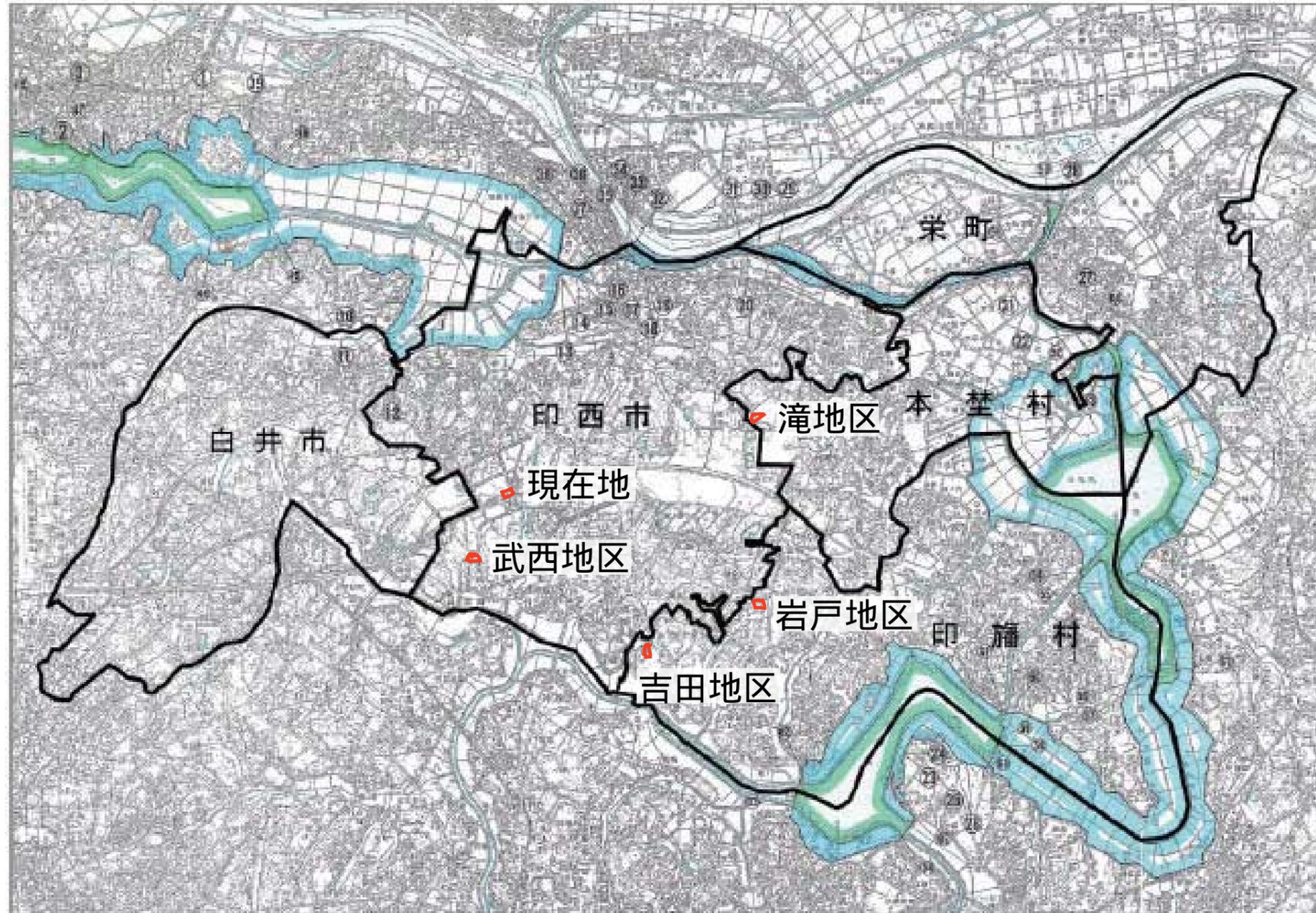
浸水深さの目安

洪水ハザードマップでは、予想される浸水の深さを色別で示しています。

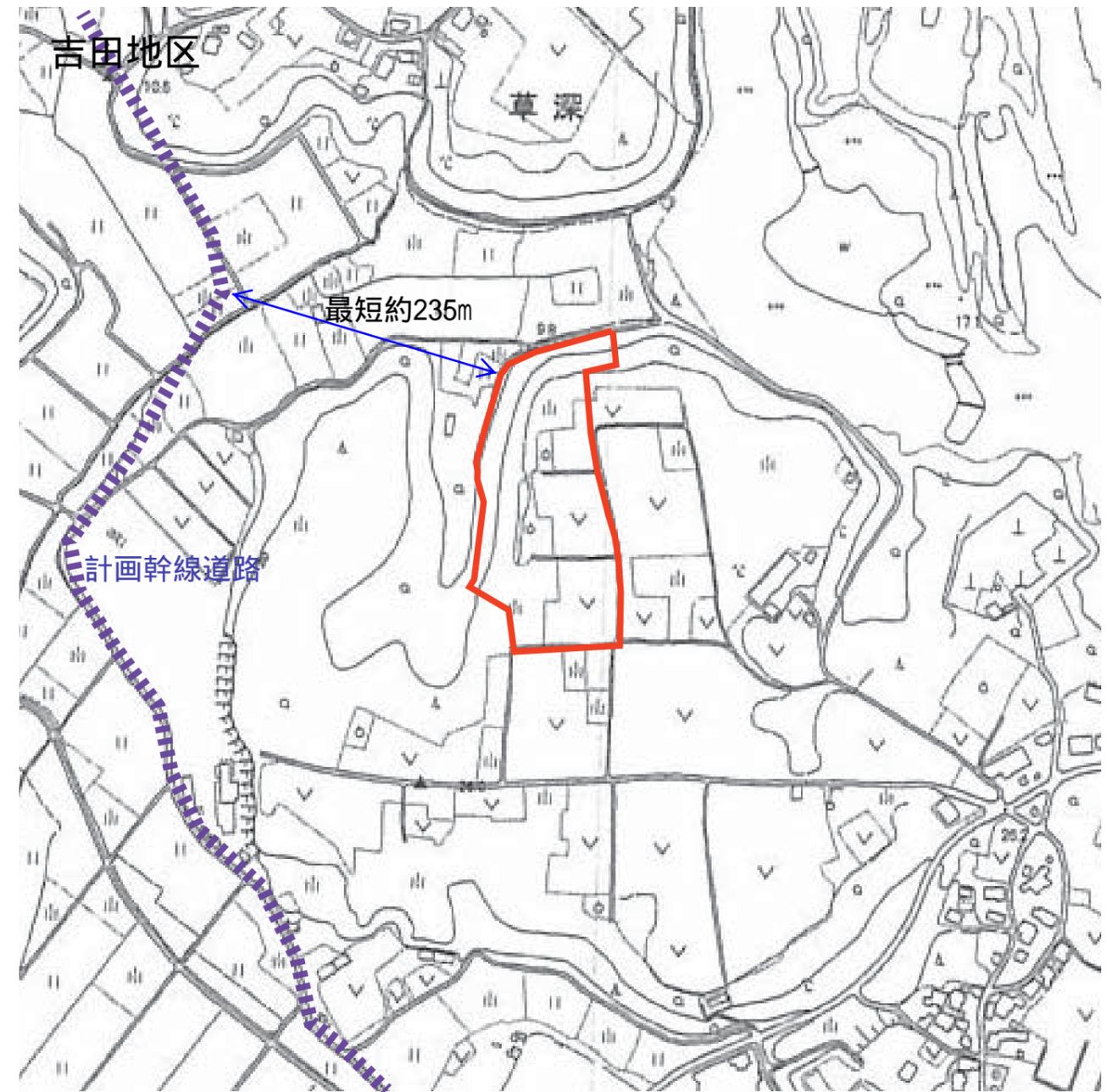


浸水深さ	凡 例
5.0m以上	広域避難場所
2.0m以上5.0m未満	指定避難所
1.0m以上2.0m未満	特別避難所
0.5m以上1.0m未満	市役所・支所
0.5m未満	警察機関
	消防署
	防災井戸
	県緊急輸送路
土砂災害	
土砂災害特別警戒区域	
土砂災害警戒区域	



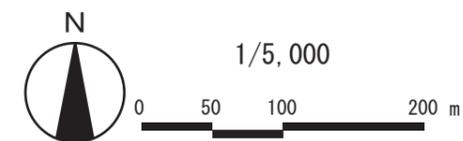


保護計画凡例	
	第3種特別地域
	普通地域

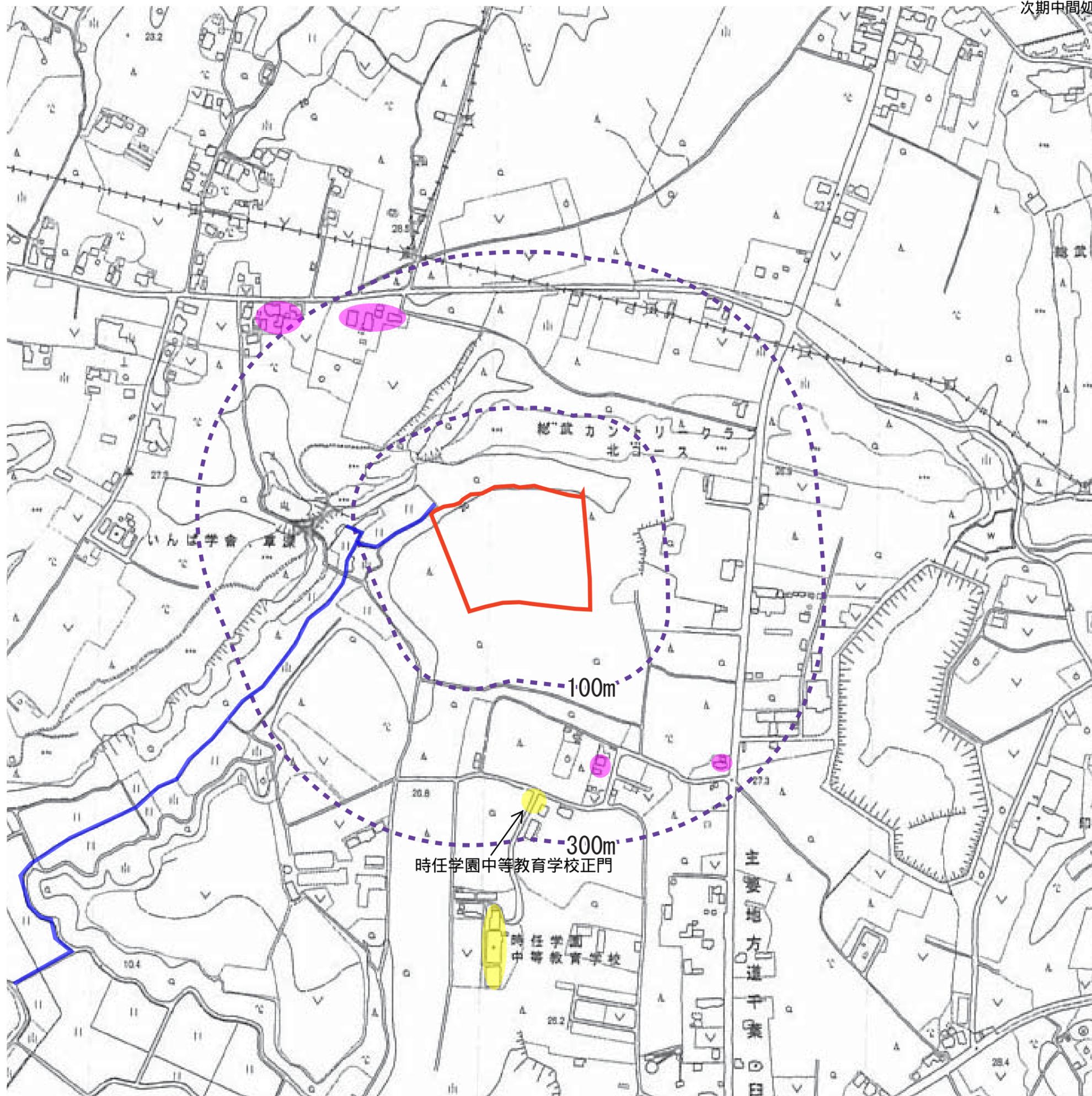


本資料における幹線道路とは：2車線以上で、歩道付きの道路を示す

確認項目No.4 その他
(アクセス道路)

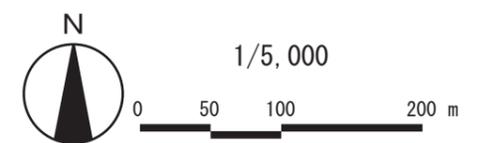


岩戸地区

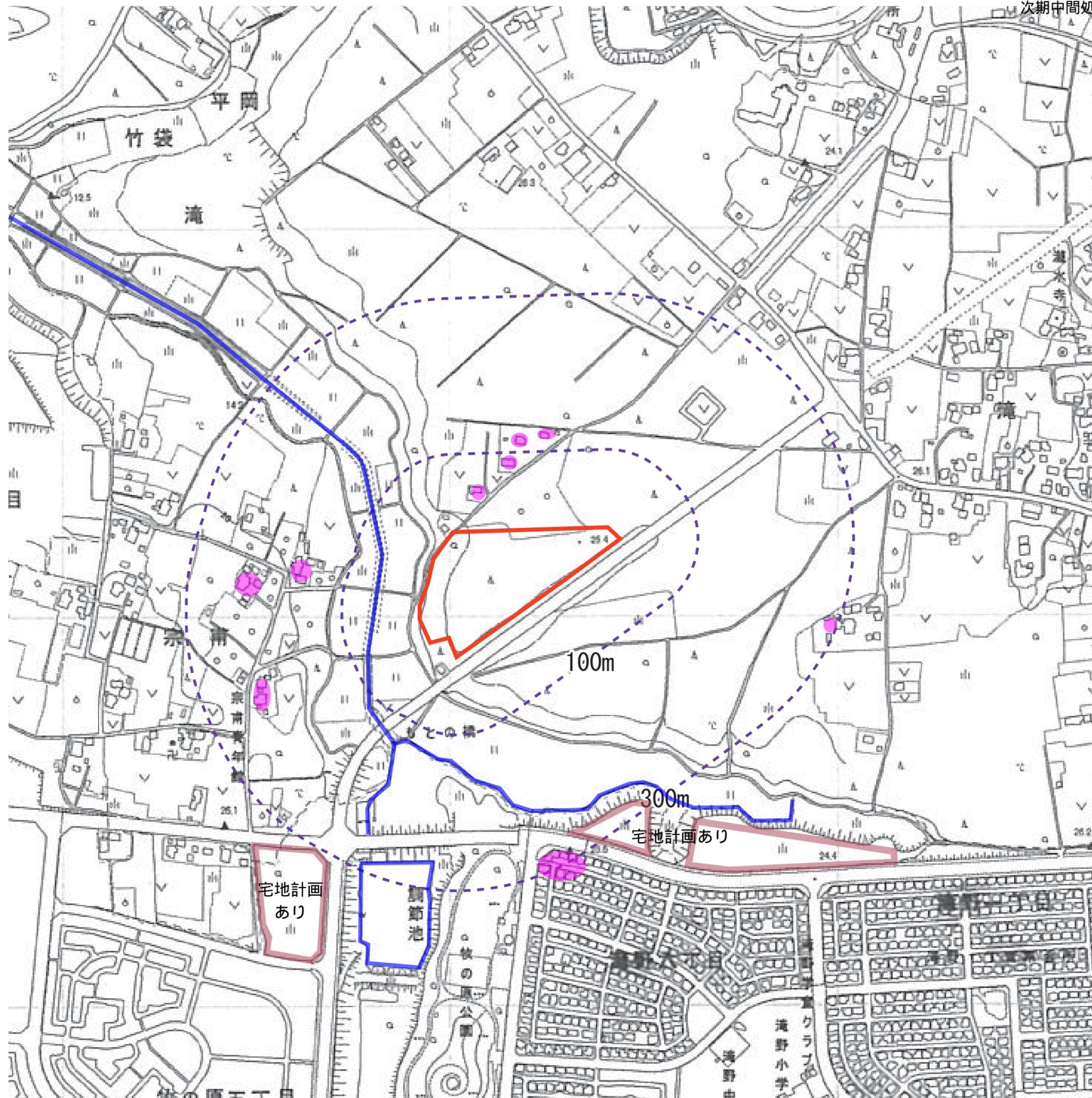


- -5点：100m以内に住宅がなく、100m超から300m以内に住宅がある。
- -5点：100m以内に「学校」、「保育所」、「図書館」のいずれもなく、100m超から300m以内に「学校」がある。
- 0点：300m以内に「病院」、「診療所」、「特別養護老人ホーム」のいずれもない。
- 河川および水路

評価項目No.5 生活環境の保全 地域住民の日常生活への影響

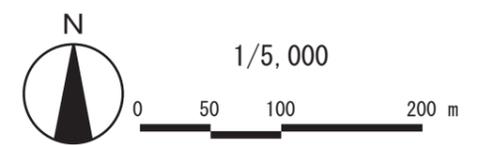


滝地区

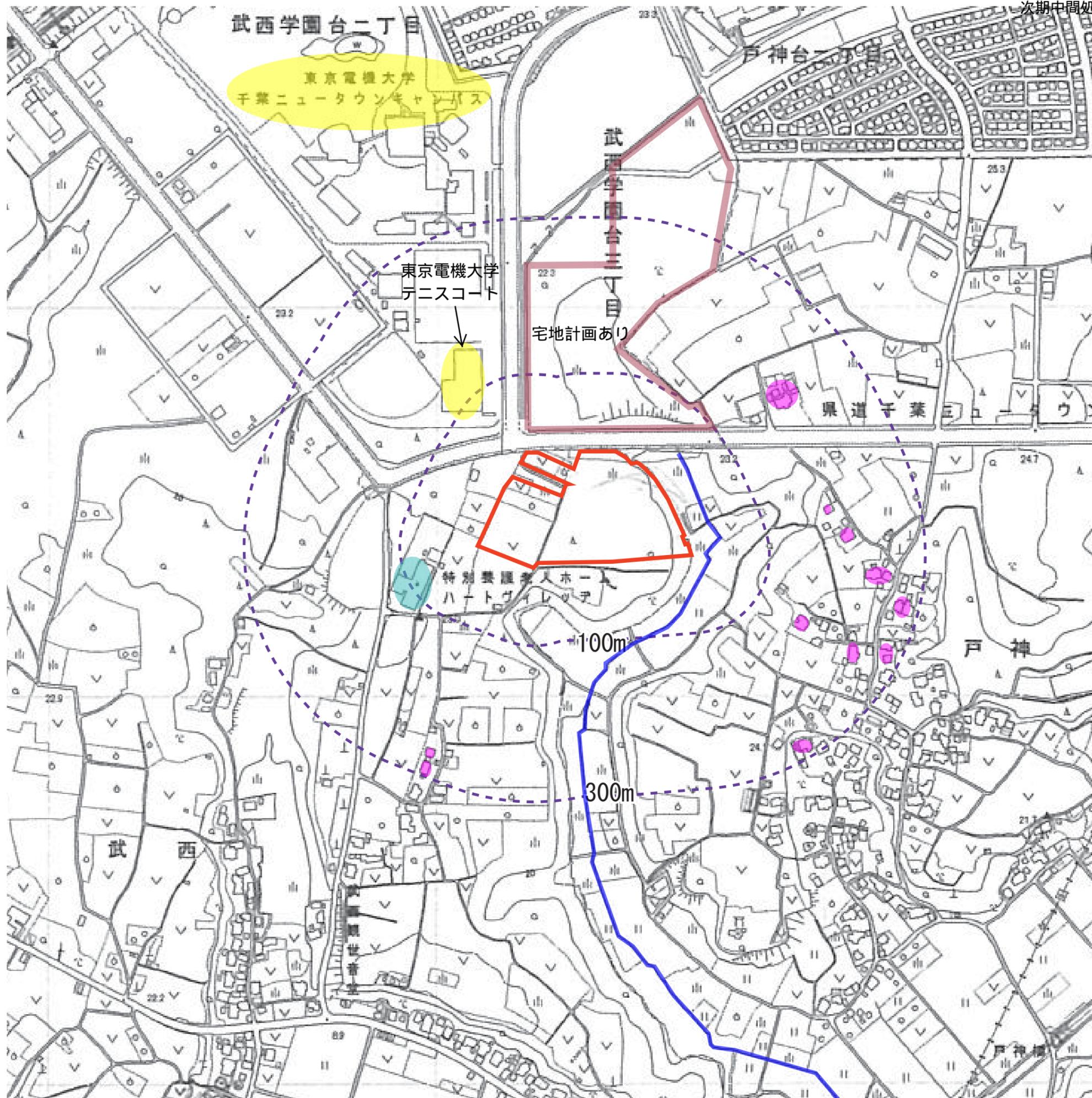


- -10点：100m以内に住宅がある。
- 0点：300m以内に「学校」、「保育所」、「図書館」のいずれもない。
- 0点：300m以内に「病院」、「診療所」、「特別養護老人ホーム」のいずれもない。
- 河川および水路

評価項目No.5 生活環境の保全 地域住民の日常生活への影響

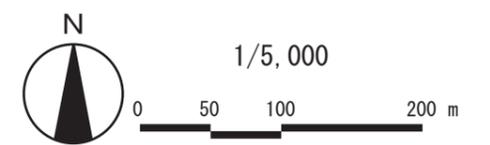


武西地区

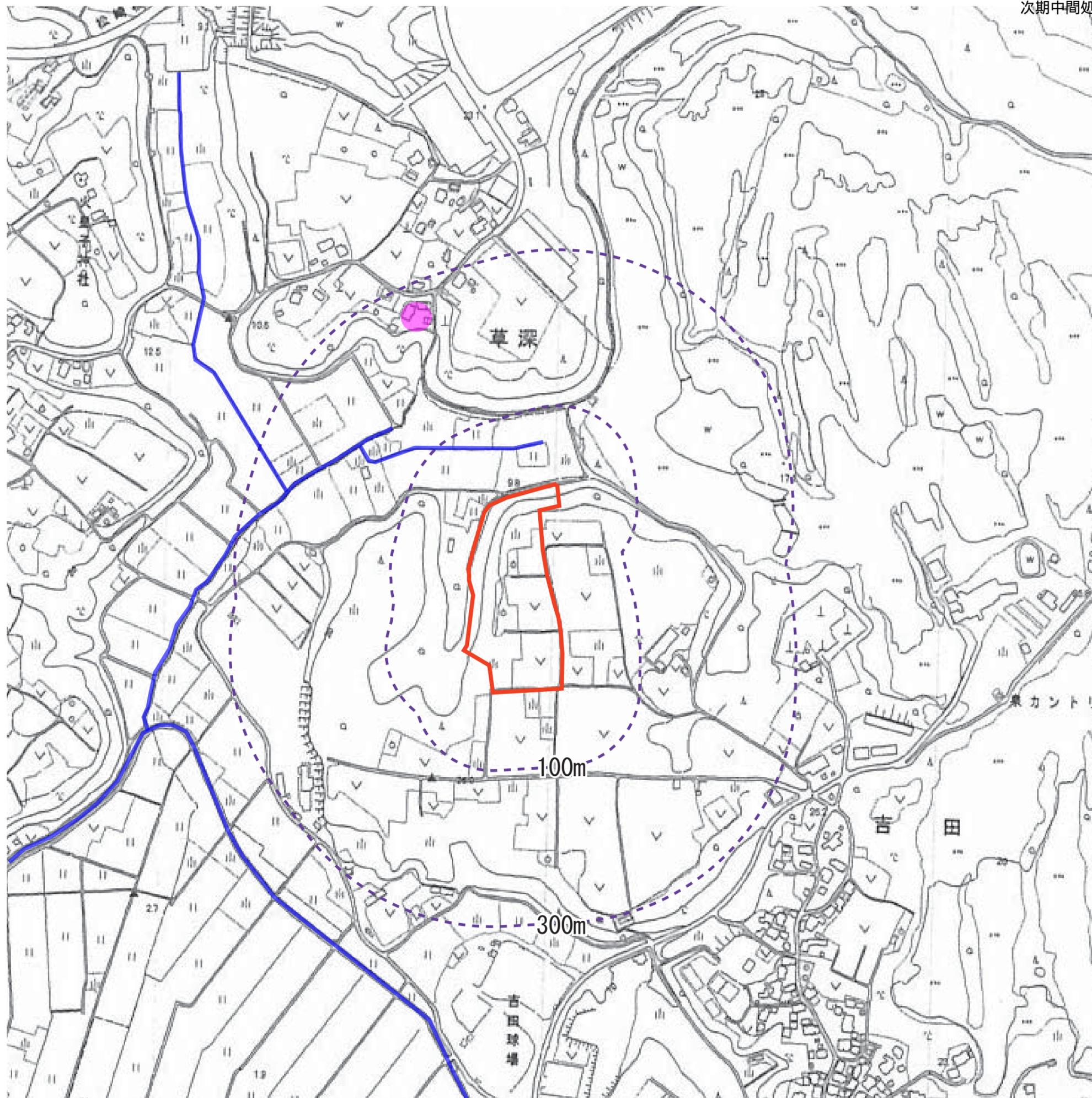


- -5点：100m以内に住宅がなく、100m超から300m以内に住宅がある。
- -10点：100m以内に「学校」がある。
- -10点：100m以内に「特別養護老人ホーム」がある。
- 河川および水路

評価項目No.5 生活環境の保全 地域住民の日常生活への影響

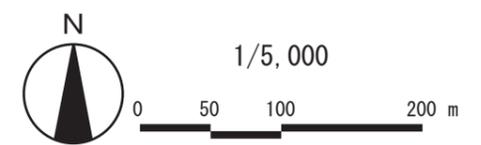


吉田地区



- -5点：100m以内に住宅がなく、100m超から300m以内に住宅がある。
- 0点：300m以内に「学校」、「保育所」、「図書館」のいずれもない。
- 0点：300m以内に「病院」、「診療所」、「特別養護老人ホーム」のいずれもない。
- 河川および水路

評価項目No.5 生活環境の保全 地域住民の日常生活への影響

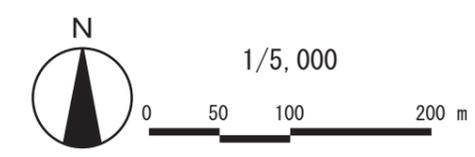


現在地



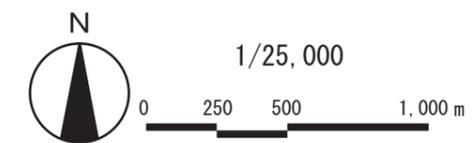
- -5点：100m以内に住宅がなく、
100m超から300m以内に住宅がある。
- 0点：300m以内に「学校」、「保育所」、
「図書館」のいずれもない。
- 0点：300m以内に「病院」、「診療所」、
「特別養護老人ホーム」のいずれもない。
ただし、100m超から300m以内に
「病院」が平成28年4月に開設予定である。

評価項目No.5 生活環境の保全 地域住民の日常生活への影響





現在地を除く候補地は全て
地域森林計画対象民有林が存在します。

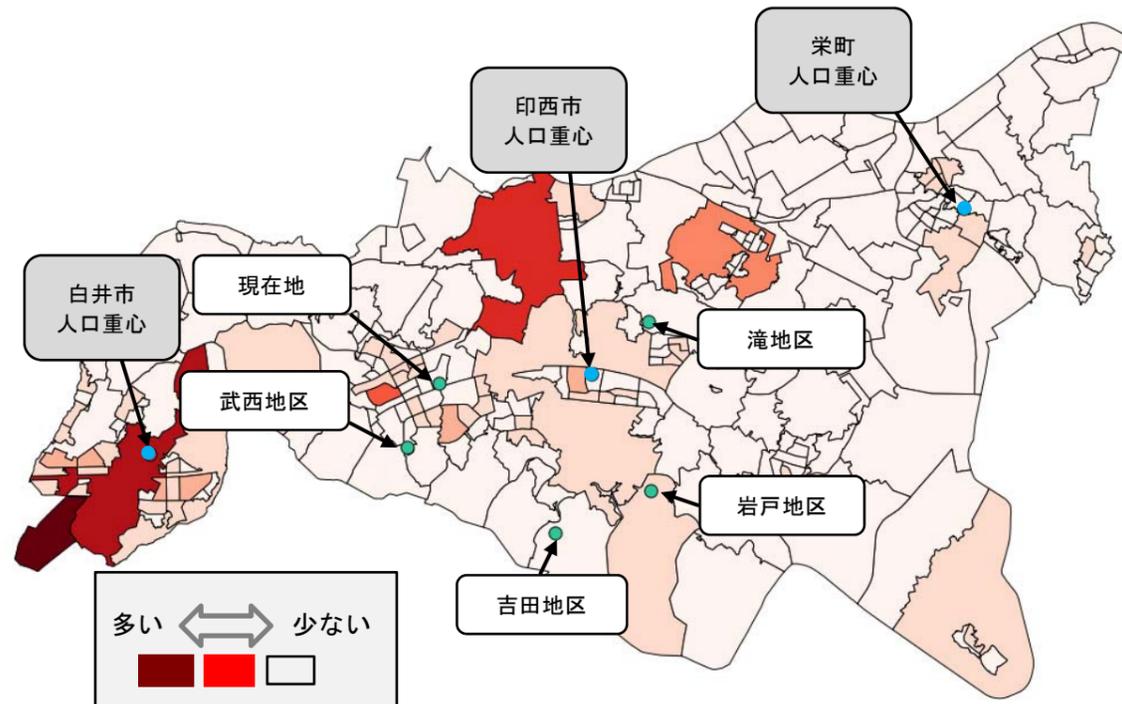


評価項目No.7 自然環境等の保全 里地里山の保全（地域森林計画対象民有林）

評価項目 No. 9 地球温暖化防止

「候補地の比較評価項目・基準・配点の補足資料」及び「第8回会議参考資料① 温室効果ガス発生量シミュレーション検証結果」に従って、収集運搬車による温室効果ガスの発生量を候補地ごとに算出し、評価します。

各市町の人口重心から各候補地までの直線距離は以下のとおりです。



	人口重心からの直線距離 (km)		
	印西市から	白井市から	栄町から
岩戸地区	2.9	11.1	9.4
滝地区	1.7	11.4	7.5
武西地区	4.4	5.7	13.5
吉田地区	3.6	9.2	11.6
現在地	3.4	6.6	12.4

走行距離の設定

収集運搬車1台あたりの走行距離は、収集距離（各ステーション間を収集するのに必要な距離）と、各候補地への運搬距離の和とします。ここで、収集距離は5kmと仮定します。また、運搬距離は各市町の人口重心から各候補地までを往復した直線距離とします。

車両台数の設定

年間処理量と収集運搬車の1回あたりの平均運搬量をもとに車両台数を算出します。年間処理量は、印西地区ごみ処理基本計画検討委員会が推計した平成40年度の減量目標達成時における焼却対象年間ごみ量と破碎・選別対象年間ごみ量の合計とします。収集運搬車の1回あたりの平均運搬量は1.6tと仮定し、年間の車両台数は印西市16,205台、白井市9,701台、栄町2,396台としました。

温室効果ガス算出方法

算定式は以下のとおりです。

温室効果ガス量 = 走行距離 × 車両台数 × 排出係数 × 地球温暖化係数

<算出例>

印西市から岩戸地区へ収集運搬する場合の温室効果ガス量
 $= 10.8\text{km} \times 16,205 \text{台/年} \times (1.1324 \times 1 + 0.000015 \times 21 + 0.000014 \times 310)$
 $= 199,001\text{kg-CO}_2$

白井市から岩戸地区へ収集運搬する場合の温室効果ガス量
 $= 27.2\text{km} \times 9,701 \text{台/年} \times (1.1324 \times 1 + 0.000015 \times 21 + 0.000014 \times 310)$
 $= 300,037\text{kg-CO}_2$

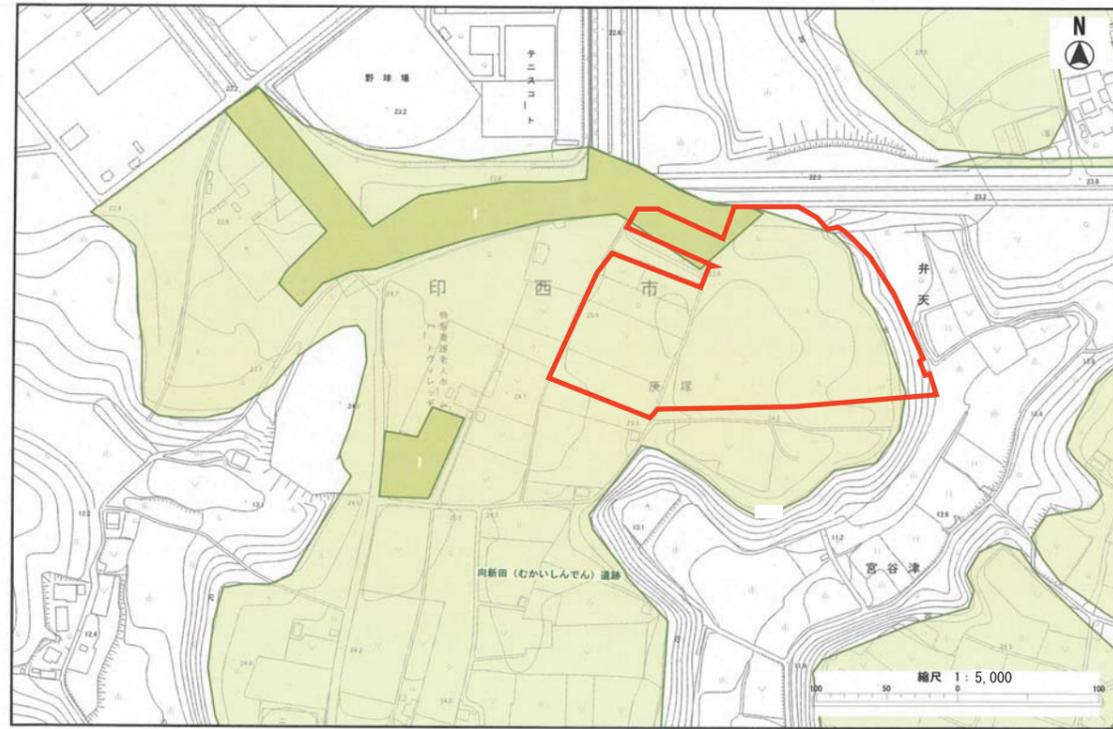
栄町から岩戸地区へ収集運搬する場合の温室効果ガス量
 $= 23.8\text{km} \times 2,396 \text{台/年} \times (1.1324 \times 1 + 0.000015 \times 21 + 0.000014 \times 310)$
 $= 64,830\text{kg-CO}_2$

関係市町から岩戸地区へ収集運搬する場合の温室効果ガス量
 $= 199,001 + 300,037 + 64,830 = 563,868\text{kg-CO}_2 = 563.9\text{t-CO}_2$

評価

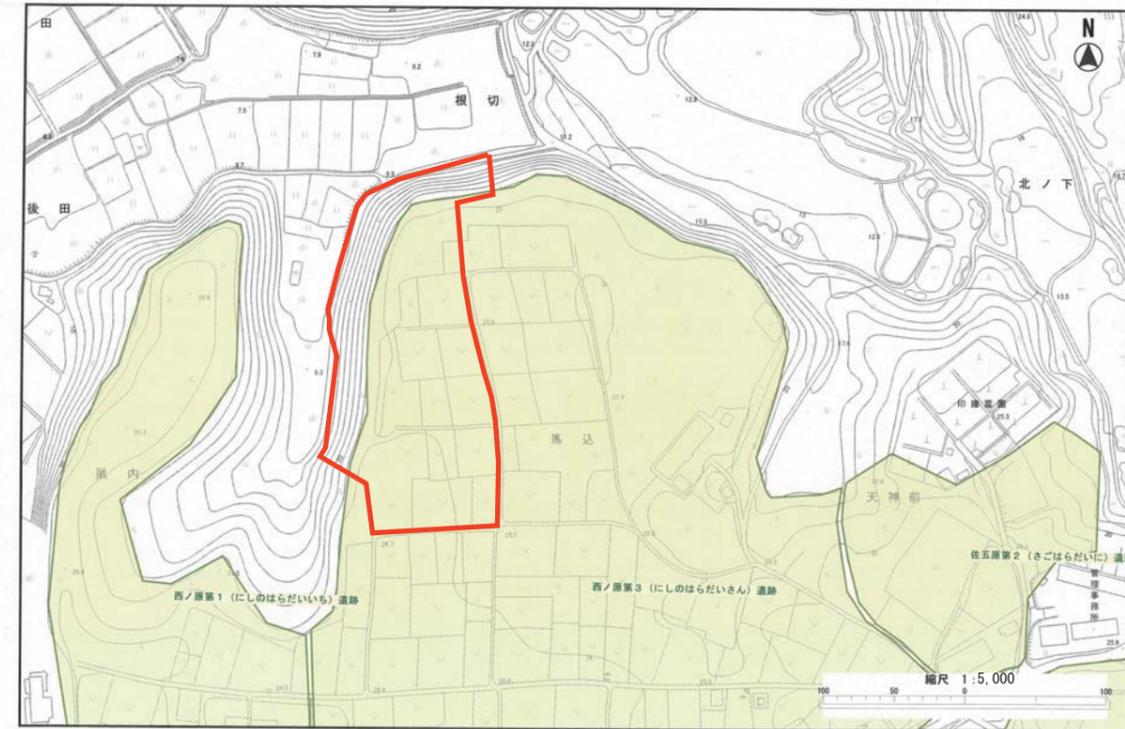
	走行距離 (km)			温室効果ガス量 (t-CO ₂)	減点 (四捨五入前)	減点
	印西市から	白井市から	栄町から			
岩戸地区	10.8	27.2	23.8	563.9	-10	-10
滝地区	8.4	27.8	20	515.9	-9.1	-9
武西地区	13.8	16.4	32	522.3	-9.2	-9
吉田地区	12.2	23.4	28.2	559.7	-9.9	-10
現在地	11.8	18.2	29.8	499.3	-8.8	-9

埋蔵文化財包蔵地は、武西地区、吉田地区が該当しました。
 該当するいずれの地点も候補地内の50%以上が調査対象となります。（-5点）

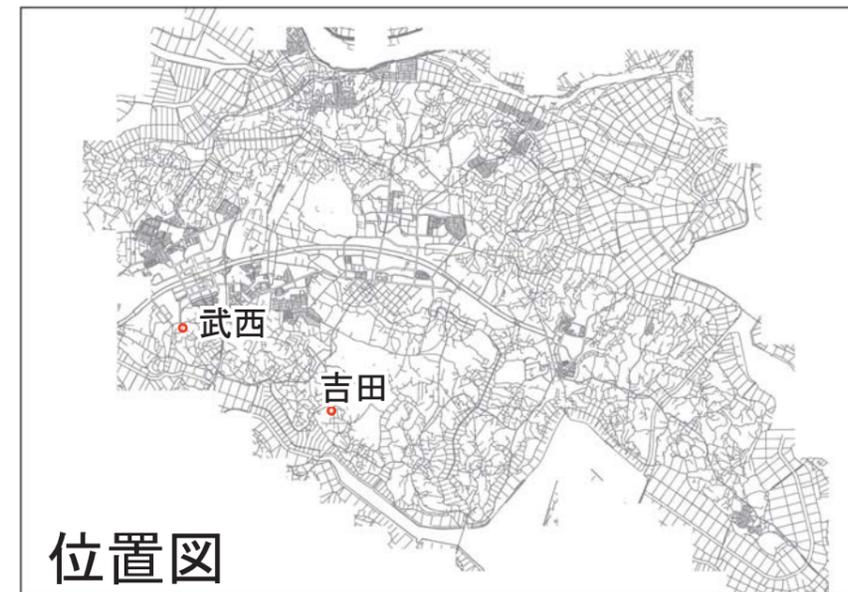


武西地区

凡例
 : 埋蔵文化財包蔵地
 : 調査済み

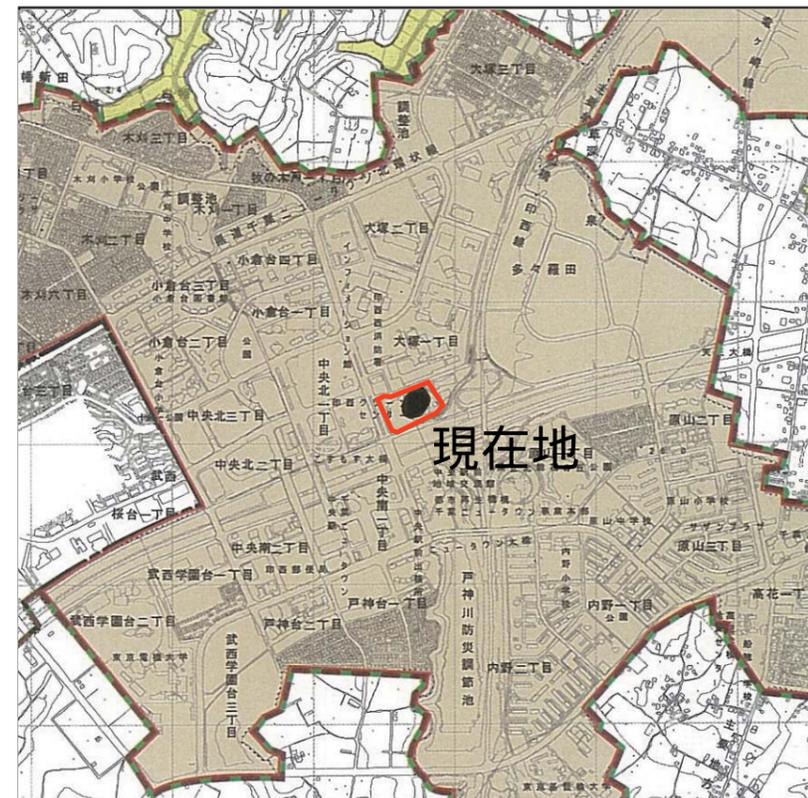
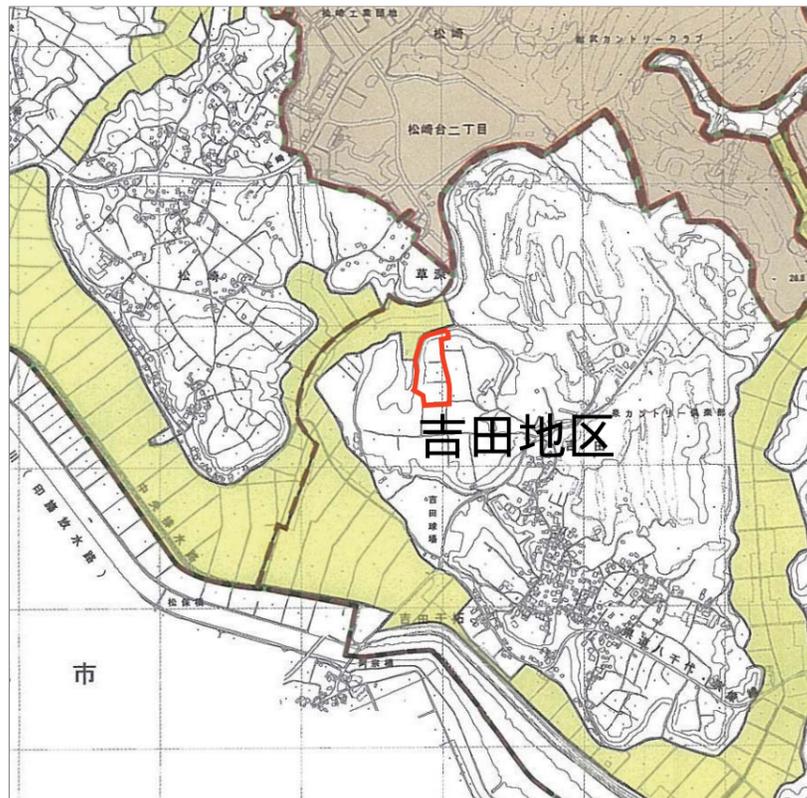
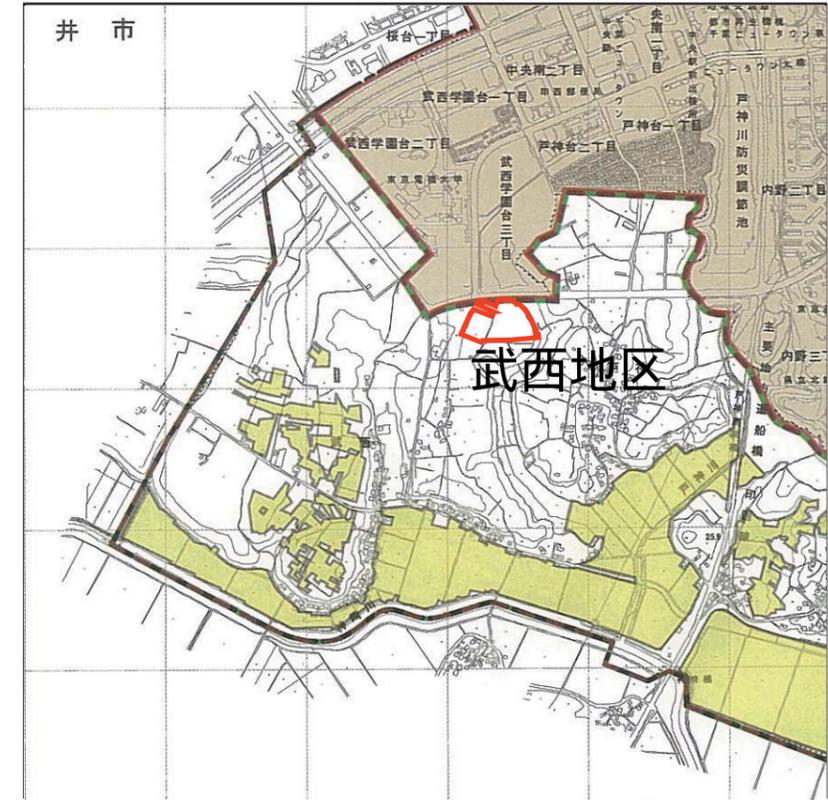
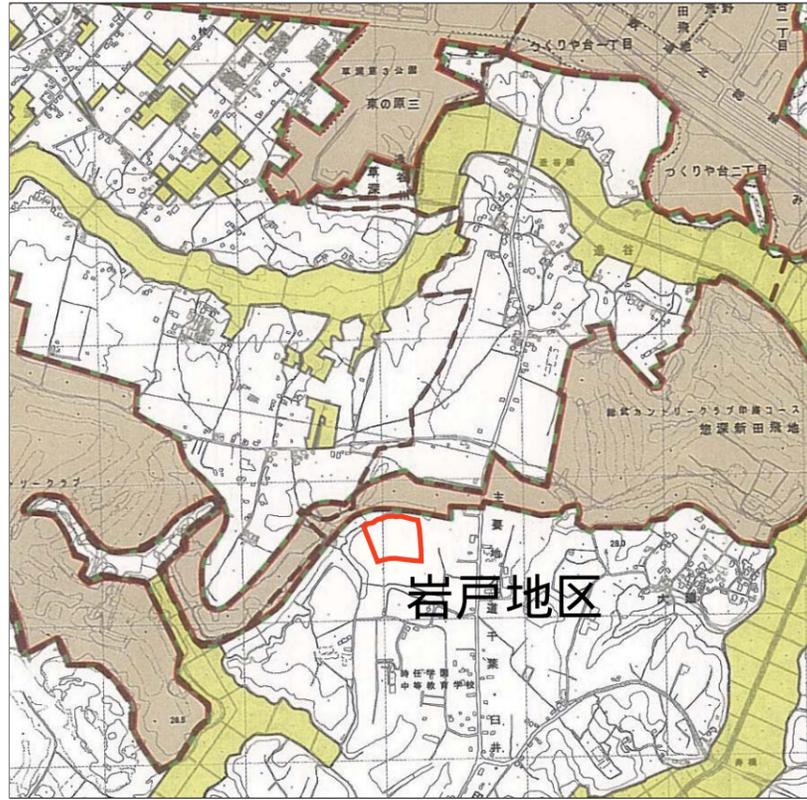


吉田地区



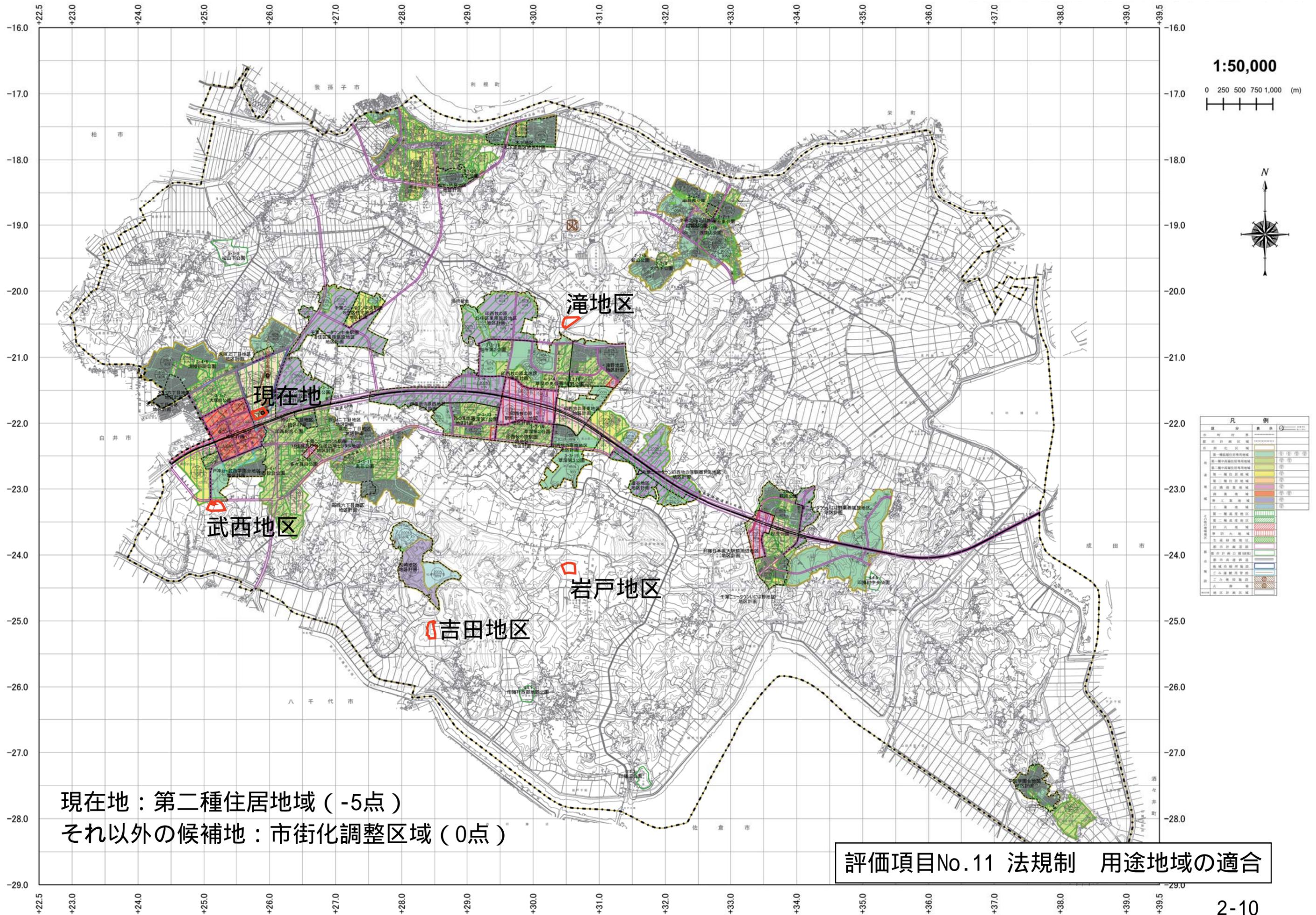
位置図

評価項目No.10 法規制 各種規制の状況（埋蔵文化財包蔵地）



全ての候補地内に農用地区域は
該当はありませんでした。(0点)

凡 例	
-----	市 町 村 界
—————	農 業 振 興 地 域 界
-----	地 区 界
■ (Green)	農 用 地 区 域
■ (Brown)	農 業 振 興 地 域 除 外 区 域



現在地：第二種住居地域（-5点）
 それ以外の候補地：市街化調整区域（0点）

評価項目No.11 法規制 用途地域の適合

液状化マップ



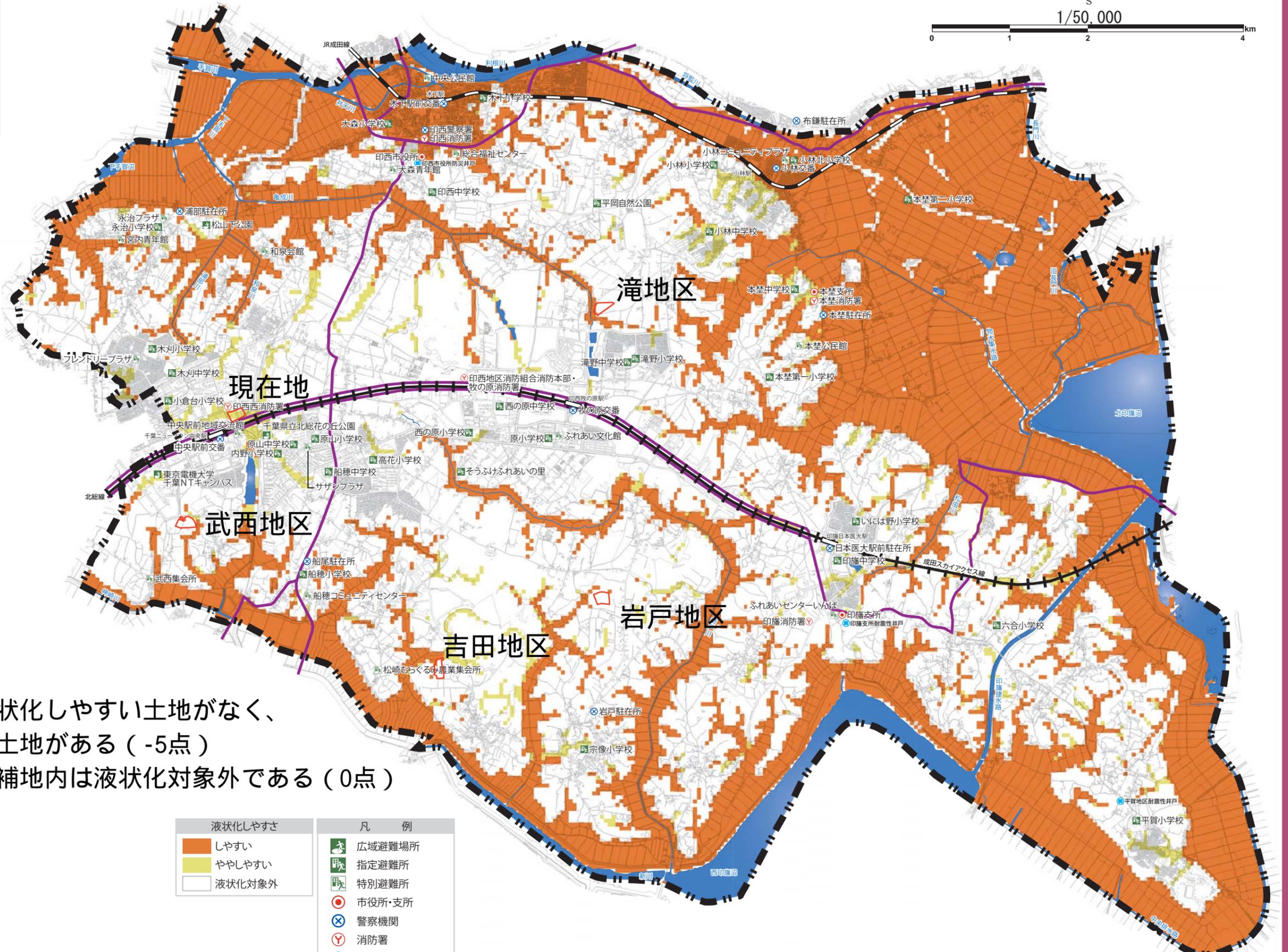
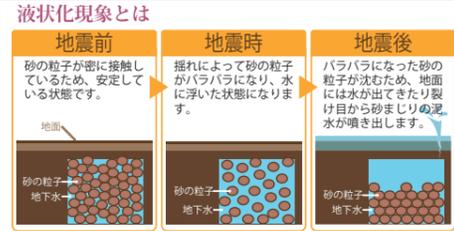
「液状化マップ」は、地域の地形・地盤の特性を考慮して、印西市直下の地震（マグニチュード7.3）が発生した場合に液状化現象が生じる程度を50mメッシュ単位で表したものです。なお、液状化のおそれは地盤情報に基づく予測値であるため、実際の液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。また、液状化しやすい地域においても、地盤改良等の液状化対策が実施されたところでは、液状化現象による被害を大幅に回避することができます。

平成25年8月発行

液状化現象は、個々の敷地の地盤条件と地震動の強さの関係により発生します。この図は地形条件等と想定地震で液状化の可能性を評価した目安であり、個々の地盤条件については別途調査等が必要となります。



1/50,000



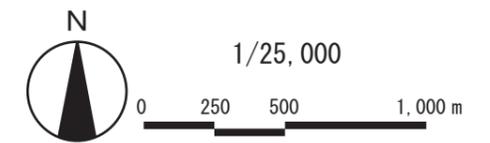
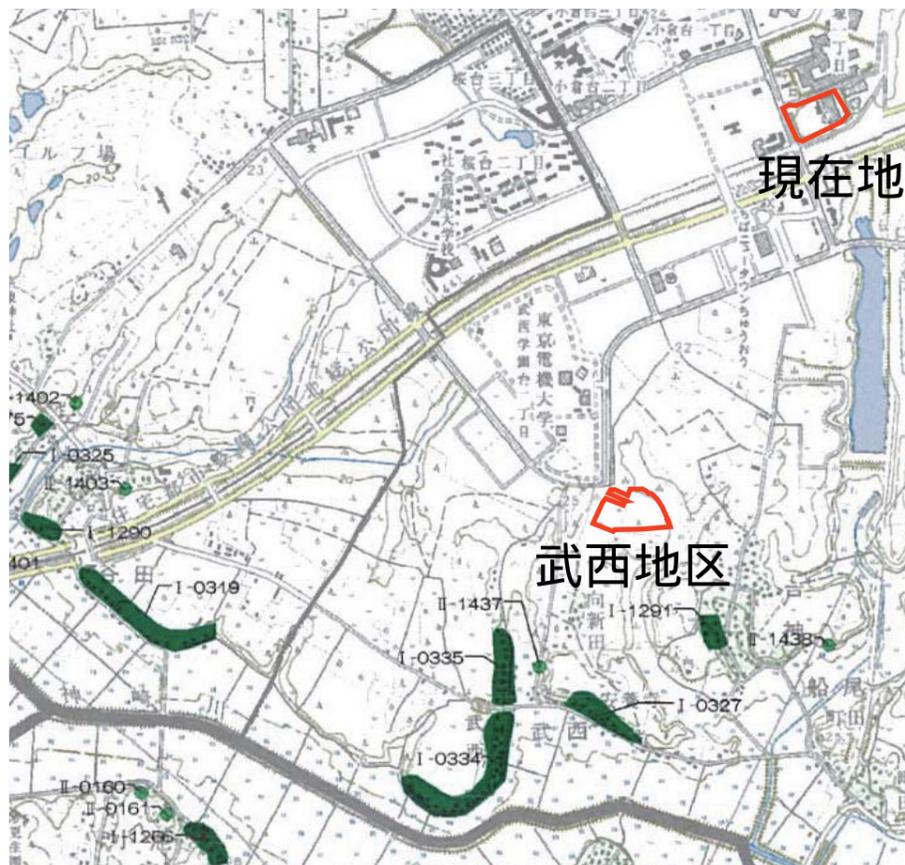
現在地：候補地内に液状化しやすい土地がなく、
 ややしやすい土地がある（-5点）
 それ以外の候補地：候補地内は液状化対象外である（0点）

液状化しやすさ	凡 例
しやすい	広域避難場所
ややしやすい	指定避難所
液状化対象外	特別避難所
	市役所・支所
	警察機関
	消防署
	防災井戸
	県緊急輸送路

評価項目No.12 地盤の安定性 液状化予測地域



全ての候補地内に急傾斜地崩壊危険区域または土砂災害警戒区域等は該当がありませんでした。
(0点)



急傾斜崩壊危険箇所

- 急傾斜地崩壊危険箇所 I
- 急傾斜地崩壊危険箇所 II
- 急傾斜地崩壊危険箇所に準ずる斜面 III

評価項目No.13 地盤の安定性
地形の状況